TOSHIBA
Leading Innovation

東芝非常用照明器具・東芝階段通路誘導灯（電池内蔵）取扱説明書

保管用

001E927G

形名	FHTS-41007N-PK9 FHTS-41107N-PK9 (公共施設) K1-FSR2-321	初期照度補正機能付

適合ランプ	東芝高周波点灯専用蛍光ランプ"メロウライン"(FHF32EX-N)
蓄電池	4.2NR-CY-S

充電モニター（充電表示灯）付

このたびは東芝非常用照明器具・東芝階段通路誘導灯をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。この器具は電子安定器を採用しておりますので、電源周波数に関係なくご使用できます。

- 照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

- 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

工事店様へ　施工上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、質量に耐える所に取扱説明書に従って行なってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。
- 電源線接続の際は、4 器具本体の取り付け②に従って確実に行なってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因になります。

- アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行なってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

アース工事

- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。

改造

- この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用できません。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。

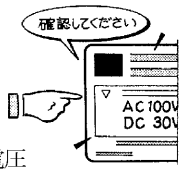
腐食性ガス

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- この器具は屋内専用で、５℃～３５℃の範囲で使用するよう設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因になります。

温度
屋外

- 器具に表示された電源電圧(定格電圧±６％以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違って使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。（器具の定格電圧と電源電圧は器具を取付ける前に必ず確認してください。）



電源電圧

⚠ お願い

- 器具は慎重に調整されています。取り付けの際、衝撃を与えないでください。
- この器具の電源は**昼夜連続給電**してください。
- 間引き点灯の場合は、分岐回路をもうけ、そのスイッチで消灯してください。
- この器具は蓄電池を内蔵しています。電源を通電しないまま、蓄電池のコネクターをつないで放置すると過放電状態になりますので、おやめください。
- 内蔵蓄電池は、ご使用前に48時間以上充電してからお使いください。電池は設置後通電し、充電しないと非常点灯しません。
- 工事が終了してから、使用開始されるまで時間がある場合は、消灯するまで蓄電池を放電させてください。その後、蓄電池のコネクターをはずし、保存してください。

東芝非常用照明器具・誘導灯点検カード

点検責任者

設置　　年　月　日　設置場所

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者	点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	
・　・	外観 切替 性能		・　・	外観 切替 性能	

充電モニター の保守、点検方法

① 充電モニターが点灯しているかどうか確認してください。

② 充電モニターが消灯している時は蓄電池が充電されていません。蓄電池のコネクターはずれ、平常電源の開放がないか確認してください。

③ 充電モニターが点灯しない原因がわからない時には、お買い求め先、または最寄りの東芝ライテック照明ご相談センターにご連絡ください。

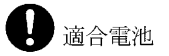
●お客さまはお読みになったあとも必ず保管してください。

お客様へ　　使用上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ランプ交換の際は必ず平常電源を切ってから行なってください。また、器具のお手入れの際は、必ず蓄電池のコネクターをはずし、平常電源を切ってから行なってください。感電の原因となります。　電源を切って
- ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因になります。　可燃物
- ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。ランプ交換の際は、”メロウライン”（ＦＨＦ３２）とご指定ください。間違った種類・ワット(W)数のランプを使用した場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。
(電源を入れた状態でランプ交換を行うと、ランプが点灯しない場合があります。)

- この器具に内蔵されている蓄電池を交換する際は、必ずコネクターをはずし、指定のものをご使用ください。
蓄電池の指定以外のものの使用、分解、リード線の切断は、短絡、感電、蓄電池破裂の原因となりますのでおやめください。



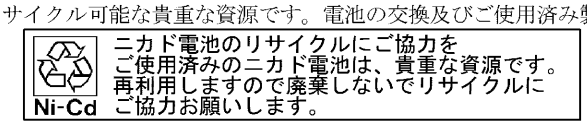
⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。
- 器具を清掃する際は、ソケット等の樹脂部には、水、洗剤、薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因になります。
- ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布で拭いてください。

- **照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。**
- **1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。**
（「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。）
- **点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。**

⚠ お願い

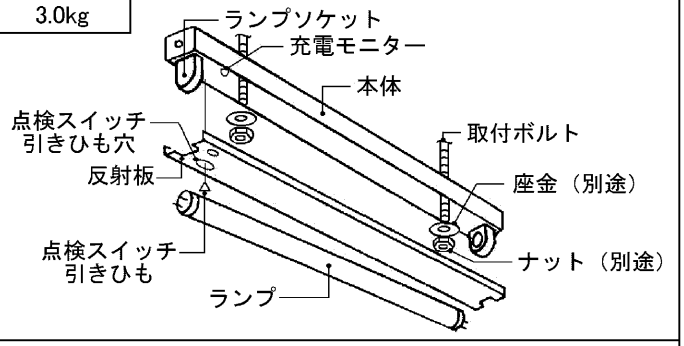
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- ３ヶ月に１回、定期的に非常点灯を行い点検カードにその結果を記入してください。
(下の点検カードを切り取って使用してください。)
- 点検スイッチの引きひもを引きますと、非常電源に切り替わり、非常点灯を確認できます。
- 定期点検の際の性能確認で点灯持続時間が30分以下の場合には、内蔵の蓄電池を交換してください。
- この製品には、ニカド蓄電池を使用しております。ニカド蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換及びご使用済み製品の破棄に際しては、ニカド蓄電池のリサイクルにご協力ください。
- ランプ及び蓄電池以外の部品の交換は絶対におやめください。
- 点灯装置の改造、部品の追加は絶対におやめください。
- 蓄電池のヒューズ交換の際には、定格5Aを使用してください。
- 長時間使用しないときは、消灯するまで蓄電池を放電させてください。その後、蓄電池のコネクターをはずし、保存してください。
- 内蔵する蓄電池を有効に動作させるために、６ヶ月に１回充分な放電を行なってください。
- 点灯装置の動作不良が生じた場合は、新しい器具と交換してください。
- この器具は高温雰囲気中（140℃以上）で使用されたものは再使用できません。この場合は、新しい器具と交換してください。



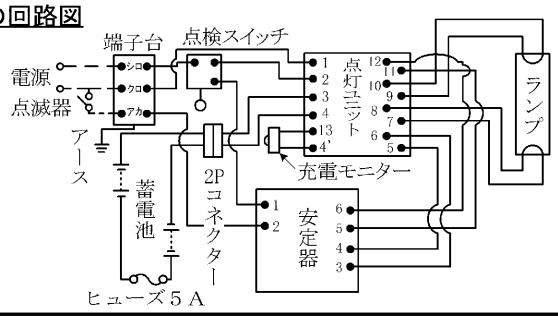
■各部のなまえ

器具質量 3.0kg

FHTS-41007N-PK9（本体、反射板は同梱です）

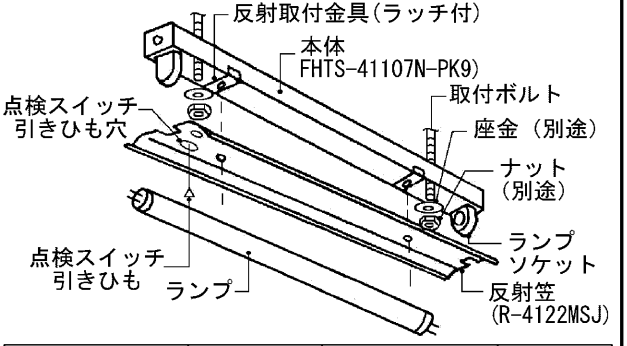


器具の回路図



FHTS-41107MK-PK9
（本体、反射笠は別梱別売です）

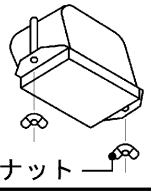
器具質量 3.0kg



組合せ形名	公共施設用適合形名	本体形名	反射笠形名
FHTS-41107MK-PK9	K1-FSR2-321	FHTS-41107N-PK9	R-4122MSJ

蓄電池の交換方法

チョウナットをはずすと
蓄電池がはずれます。

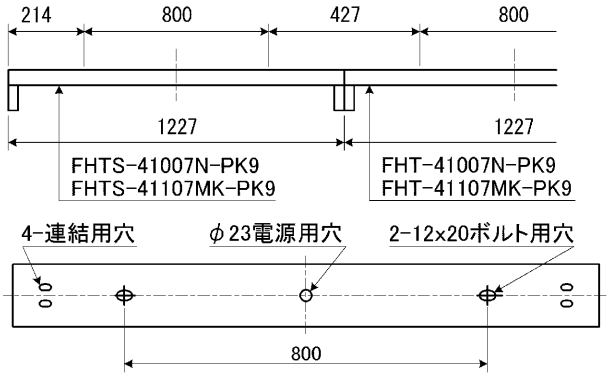


■器具の取り付けかた

1 器具の取り付け寸法

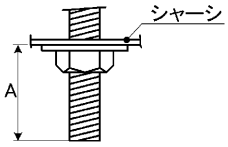
（単位mm）

直付連結使用例



2 インサートボルトの器具内寸法

A寸法は、30mmを超えないようにしてください。

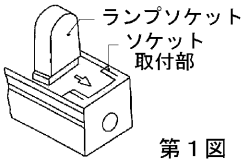


3 器具の取り付け準備

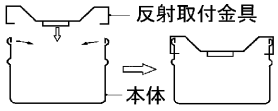
① ランプソケットをソケット取付部にしっかり差し込んで取り付けてください。（第１図）

FHTS-41107MK-PA9の場合

本体の角穴に反射取付金具を取り付けてください。（第２図）



第１図



第２図

4 器具本体の取り付け

① 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取り付けてください。
（取付けボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。）
（木ねじは丸木ねじの呼び4.1を使用してください。）

不備がありますと、器具落下の原因となります。

連結取付　連結金具C-79（別売）をご使用ください。
吊下の場合：吊装置(別売)及び吊下装置アダプターC-900をお買い求めいただき取り付けてください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

② 電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。
リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで込んで線を引き抜いてください。（配線方法を参照）

不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、接触不良による発熱、火災、感電の原因となります。

端子台の容量は20Aです。

容量を超えると発熱、火災の原因になります。

③ 蓄電池のコネクターを確実に差し込んでください。

④ 反射板(笠)の取り付け方
点検スイッチ引きひもを反射板(笠)のスイッチ引きひも穴へ通した後、反射板(笠)を本体に確実に取り付けてください。

FHTS-41007N-PK9の場合

(1) 反射板の片方の端部をランプソケット前面より内側にて反射板を本体に取り付けてください。（第３図）
(2) (1)で取り付けた反射板をランプソケット側にスライドしてランプソケットにつきあててください。（第４図）
(3) (2)で取り付けた反射板の反対側を押し上げながら反射板全体を本体になじむように取り付けてください。（第５図）

不備がありますと、落下の原因となります。

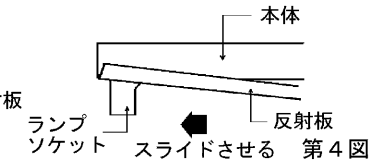
FHTS-41107MK-PK9の場合

ラッチを反射笠の穴に通し、ラッチを90°回転させて反射笠を確実に取り付けてください。（第６図）

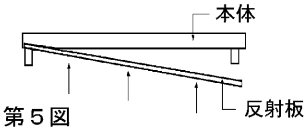
不備がありますと、落下の原因となります。

⑤ ランプを全数確実に取り付けてください。

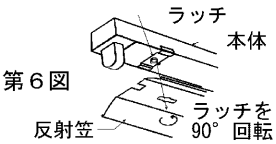
第３図



第４図



第５図



第６図

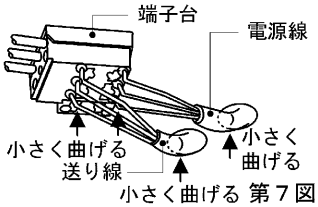
5 電源線・送り線の配線上の注意

① φ2-3線Fケーブルの場合、電線が固いため反射板が取り付け難い場合があります。

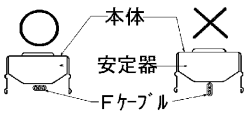
② 電源線、送り線の挿入部の線は、反射板との当りを防ぐためできる限り小さく曲げ、端子台に押し付けてください。（第７図）

③ 送り用等のFケーブルは、反射板との当たりを防ぐため安定器等の下で横になる様に施工してください。（第８図）

Fケーブルがねじれたり、波うったりしていると反射板の変形、落下の原因となります。



第７図

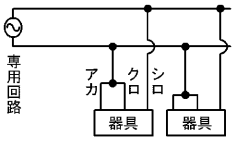


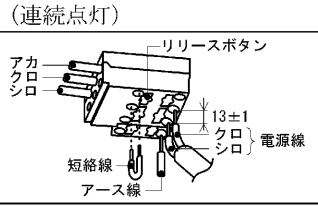
第８図

■配線方法

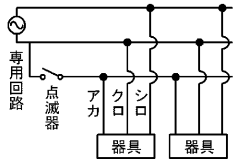
- 電源は必ず単相２線から配線してください。単相３線・３相３線からの配線は部品を焼損することがあります。
- 電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅器を設けないでください。(適合線φ1.6, φ2.0 単線)

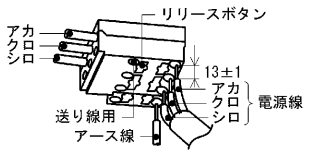
２線引配線の場合（連続点灯）





３線引配線の場合（平常時の点滅操作）





■仕様

形名		FHTS-41007N-PK9	FHTS-41107N-PK9
平常時	電源	交流50HZまたは60HZ 100V - 242V	
	入力電流 消費電力	0.51A - 0.22A 49W - 48W	
	光源	FHF32EX-N×1	
非常時	電源	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 4.2NR-CY-S 7.2V 3000mAh	
	光源	FHF32EX-N×1	
	非常時光束	定格出力 3520 lmの60%点灯です	

■初期照度補正機能付照明器具使用上の注意

この器具はランプ初期の明るすぎを自動的に補正する機能を持つ照明器具であり、定格ランプ寿命時に初期時の器具光束が得られる設計となっています。ご使用の際は次の点にご注意ください。

- ランプを寿命末期まで使用される場合（自動リセット）
  安定器が寿命末期を探知し、ランプを消灯します。ランプ交換後は自動的に初期照度機能をリセットし、ランプの明るさが初期状態に戻ります。
- ランプを寿命末期前に交換される場合（手動リセット）
  ランプを寿命末期まで使用せずに取り替える場合は自動リセットが作動しませんので、手動リセットが必要となります。
  以下手順によりランプの明るさを初期状態に戻してください。
  ランプを取り外す→電源onを１秒以上→電源offを３秒以上を３回繰り返す→新しいランプを取り付ける
- ２灯用器具の場合、ランプは２本同時に新しいものとお取替えください。
- 初期照度機能がリセットされた際はランプ点灯１０秒後に初期時の器具光束の明るさに変化します。
  （１０秒間は１００%の明るさで点灯します）
- ランプ装着していない状態で電源on/offを繰り返すと初期照度機能がリセットし、ランプの明るさが初期状態に戻る場合があります。
- 電源を切らずにランプを取り外した場合、初期照度機能がリセットし、ランプの明るさが初期状態に戻る場合があります。
- ＳＥＳＬ、コントルクスと組み合せてのご使用はできません。
- 器具・ランプの汚れに対する補正はできません。定期的な清掃をお勧めします。
- 照明器具２台以下とオフピカスイッチを組み合わせて使用する場合は、オフピカスイッチを２箇所以下でご使用ください。
  照明器具を３台以上でご使用の場合は問題ありません。
- 照明器具２台以下でオフピカスイッチと組み合わせて使用する場合、手動リセットが動作しない場合があります。
  オフピカスイッチは２箇所までとしてください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048（通話料：無料）
受付時間：365日 9:00~20:00
携帯電話・PHSなど 046-862-2772（通話料：有料）
FAX 0570-000-661（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

保証について

- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については３年間です。
- セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。

東芝ライテック株式会社 施設・屋外照明部 施設照明担当 〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル) TEL(03)5479-1071 FAX(03)5479-3393

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。 001E927G

点検のポイント

① 外観チェック
(1)充電モニターが点灯していますか。
(2)光源、表示板などは汚れていませんか。

② 切替動作チェック
点検スイッチを引いてください。
非常点灯に切り替わりますか。

③ 性能チェック
点灯持続時間
非常灯点灯切替後30分間点灯が持続しますか。

注意事項

① 電源は昼夜連続給電願います。
② ３ヶ月に１度は定期的に点検し、点検カードに記録願います。
③ 点灯持続時間のチェックを行い、性能が満足しないときは器具に内蔵されている同一形名の蓄電池と交換してください。
※交換した古い蓄電池はすてないでお買い求め先または最寄りの東芝ライテック照明ご相談センターにお渡しください。
④ 万一うまく動作しない場合、原因がわからない時にはお買い求め先または最寄りの東芝ライテック照明ご相談センターにご連絡ください。